

さかい広報

sakai

No.655

令和6年春号

さかいの 成人式



特集

- 令和6年境町 20歳の集い
- アリアマヌ中学校の生徒が境町でホームステイ！
- 4年ぶりに開催！生涯学習フェスティバル ほか

二十歳

おめでとう

未来へ羽ばたけ 275名の二十歳が集う



二十歳として第一歩を踏み出す私たちのために、このような盛大な式典を開催していただきまして、誠にありがとうございます。

また、ご多忙の中、橋本町長をはじめ、たくさんのご来賓の方々にご臨席を賜り、更には、心温まるご祝辞と激励のお言葉を頂戴し、身の引き締まる思いです。この境町で共に過ごした仲間たちと共に二十歳のつどいを迎えられるのは、この上ない喜びです。二十歳の成人者を代表いたしまして、心より感謝申し上げます。二十歳という大きな節目を迎え、広い視野で物事を見る目を養い、正しい判断ができるような人にならなければと、改めて自己を見つめ直す社会の中で、大きな壁にぶつかるともあると思いますが、コロナウイルスという厳しい時代を乗り越えてきた私たちはきっと、強い気持ちでこれからはきつと、強い気持ちで乗り越えていけるはずです。結びになりますが、今日まで私たちを支えてくださった方たちへの感謝を忘れずに、二十歳となった喜びを噛みしめながらも気を引き締め、何事にも諦めず努力することをここに誓い、謝辞といたします。

(一部抜粋)



二十歳のつどい 実行委員 秋山 優奈 さん

謝辞

令和6年1月7日(日)、境町中央公民館において、「令和6年 境町二十歳のつどい」が快晴の中挙行されました。二十歳の健やかな心身の成長と成人としての門出を祝福するため、式典では、橋本町長をはじめ、恩師の方々などが二十歳になられた方々に向け、お祝いの言葉を述べられました。また、二十歳の皆さんに、今年実施予定の、「利根川大花火大会」への招待と、当日限定で道の駅さかいでリフトバンドと引き換えにピザや弁当などを町からプレゼントするサプライズ発表がありました。

「花火大会に招待してもらえるなんて今から楽しみ」 「サプライズプレゼントありがとうございます！」など二十歳の皆さんから感謝の声があり、道の駅さかいは、食事を楽しむ晴れ着姿の方でにぎわいました。

旧友たちや恩師との再会



境二中恩師・因泥辰也先生による贈る言葉



境一中恩師・上野一智先生による贈る言葉



二十歳の皆さんへ激励の言葉を述べる橋本町長

に笑顔があふれ、家族の方々と記念撮影をしたり、昔を懐かしんだり、会場ではにぎやかな様子が伺え、それぞれ二十歳になった想いを胸に、新たな第一歩を踏み出しました。

出来事

令和6年「二十歳のつどい」対象者は、男性147名、女性128名の合計275名です。対象者が生まれた平成15年4月2日から平成16年4月1日までの主な世帯は、宮崎駿監督「千と千尋の神隠し」が第75回アカデミー賞長編アニメ映画賞を受賞しました。スポーツ界では巨人から米大リーグ・ヤンキース入りした松井秀喜外野手がワールドシリーズでは日本人で初めて4番に座り、大活躍しました。また、米英軍がイラク攻撃、自衛隊イラク派遣を決定した年でした。

国歌ピアノ伴奏

倉持 大輝さん(若林)

①茨城県境町長
②内閣総理大臣
③お父さん、お母さん、そしてこれまで出会って支えて下さった全ての方々への感謝の気持ちでいっぱい。精一杯生きます。

来賓紹介

森 朱里さん(下小橋)

①自分を成長させること。専門的な知識の獲得や、様々な経験をもとに自身の成長に繋げたい。
②お花屋さん 今でも植物を見ることは大好きです。
③お母さん、お父さん大切に育ててくれて本当にありがとうございます！お姉ちゃんも仲良くしてくれてありがとうございます！

式典司会・進行

高崎 祐香里さん(栗山)

①インテリアプランナー
②パン屋さん
③お父さん お母さんへ20年間育ててくれてありがとう。2人のおかげで無事に二十歳になりました。これからも迷惑をかけると思うけど、頑張るので温かく見守っててください。

開式・閉式の言葉

利根川 華菜さん(陽光台)

①尊敬される大人になること
②学校の先生
③家族、友達、先輩方のおかげでこれまで大切な思い出をつくることができました。これからは、誰かの人生に影響を与えられる大人になれるように頑張ります。

謝辞

秋山 優奈さん(山崎)

①英語を使った仕事がしたい
②ディズニーのキャストさん
③家族へ 迷惑かけてばかりだけど、これから少しずつ恩返ししていきます。いつもありがとうございます！

式典司会・進行

田村 佳寿人さん(伏木)

①後悔のない人生・若いうちは自分に厳しく苦勞をする
②結婚
③育ててくれた方へ 20歳になるまで面倒を見てくれてありがとうございます。これからは、人を支える側の人間になれるよう努めていきます。

祝電披露

中澤 実咲さん(長井戸)

①助産師
②保育士
③家族へ 20年間愛情たっぷり育ててくれたおかげでこのように成人の日を迎えることができました！これからもずっと健康でいてください！

二十歳のつどい 実行委員インタビュー

- ①夢・抱負
- ②子どもの頃の夢
- ③「ありがとう」を伝えたい人へ

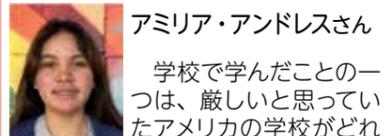




アリアマヌ中学校の生徒たちとホストファミリーのみなさんの声



ハワイの中学生15人が境町でホームステイ!



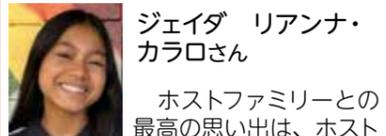
アミア・アンドレスさん

学校で学んだことの一つは、厳しいと思っていたアメリカの学校がどれだけ自由であるかということ。給食や家での食事は日本の方がずっと美味しいということも発見しました。

新谷ファミリー (陽光台)



桜が見たいと聞いて、見れる所を探し川越へ行きました。桜だよ!と言うと、凄く感動してくれました。喜んでもらえて良かったと思いました。



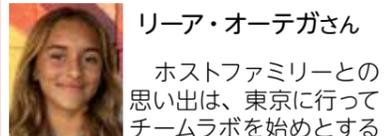
ジェイダ リアンナ・カラロさん

ホストファミリーとの最高の思い出は、ホストファミリーデーでしょう。絆を深め、知らなかったことを学びました。一緒に話したりして楽しい時間を過ごしました。

飯田ファミリー (長井戸)



川越市喜多院、市内食べ歩き、観光買物、一日一緒に時間を過ごせて、より親密になれたように思いました。



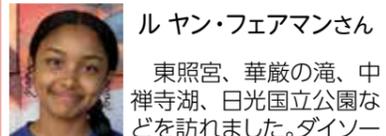
リーア・オーテガさん

ホストファミリーとの思い出は、東京に行ってチームラボを始めとするたくさんの楽しいことをし、新しい食べ物を試せたのが嬉しかったです。

小林ファミリー (新吉町)



日光の猿のショーを見て、その後、チームラボ豊洲に行き、ららぽーとでショッピングをしました。全部楽しかったです。



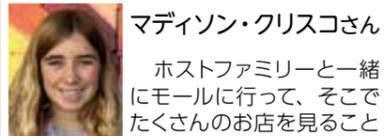
ルヤン・フェアマンさん

東照宮、華厳の滝、中禅寺湖、日光国立公園などを訪れました。ダイソーで買物も楽しかったです。決して忘れない思い出になりました。

上田ファミリー (大歩)



東京スカイツリーに登りました。天気が悪くなる前で、都内の街並みを眺めることができ、根津神社では、神社での作法を体験しました。おみくじでは、凶を引いてしまいがっかりしていましたが楽しそうでした。



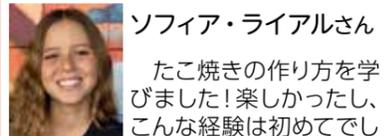
マディソン・クリスコさん

ホストファミリーと一緒にモールに行って、そこでたくさんのお店を見ることができたのが、私のホストファミリーとの最高の思い出でした。

飯田ファミリー (蛇池)



千葉県【房総の村】へ行きました。マディソンは着物、ユウマは(鬼滅の刃のキャラクターの)衣裳を着て場内を散策し、衣裳を着たままキャンダル作りをしました。中学校で浴衣を着たことを教えてもらっていたので、浴衣と着物の違いを説明しました。



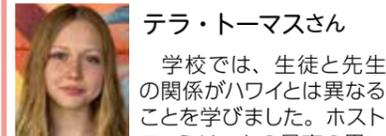
ソフィア・ライアルさん

たこ焼きの作り方を学びました!楽しかったし、こんな経験は初めてでした!一番の思い出は、寺院巡りとシュウヤとの鬼ごっこです。シュウヤと遊んで絆を深めるのが最高でした!

鈴木ファミリー (松岡町)



鎌倉方面に行き、長谷寺や鶴岡八幡宮を散策しました。水族館では魚を熱心に観察していて、ウミガメはハワイ語でホヌといい、幸運を運んでくれると教えてもらいました。



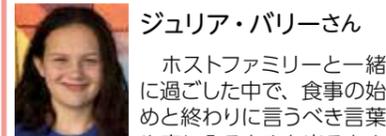
テラ・トーマスさん

学校では、生徒と先生の関係がハワイとは異なることを学びました。ホストファミリーとの最高の思い出は夜にトランプゲームをしたり、ホストファミリーデーで遊びに行ったことです。

岩岡ファミリー (陽光台)



ひたち海浜公園、いちご狩りは初めてだったようで楽しんでいました。海浜公園は天気が良く、自転車に乗る公園内を散策しました。テラも楽しんでくれたようです。



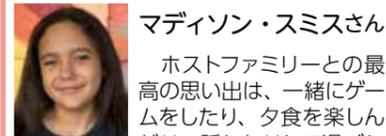
ジュリア・バリーさん

ホストファミリーと一緒に過ごした中で、食事の始めと終わりに言うべき言葉や家に入るときと出るときに言うべき言葉について学びました。(いただきます、ごちそうさま、ただいま、おかえりなさい)

山本ファミリー (山崎北)



横須賀で、軍港ツアーに参加し、海軍カレーバイキングを楽しみました。鎌倉の鶴岡八幡宮で見た桜の美しさが一番の思い出になったようです。



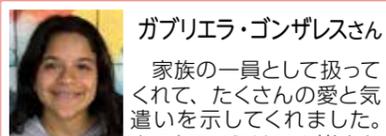
マディソン・スミスさん

ホストファミリーとの最高の思い出は、一緒にゲームをしたり、夕食を楽しんだり、話したりして過ごした時間です。

加藤ファミリー (西泉田)



東京ディズニーランドに行き、一緒にパレードを見たり、アトラクションに乗って楽しみました。みんなで笑い合っただけで、一体感が生まれたと思います。



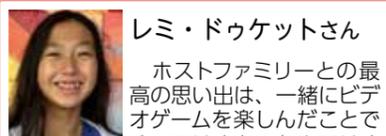
ガブリエラ・ゴンザレスさん

家族の一員として扱ってくれて、たくさんの愛と気遣いを示してくれました。ホストファミリーの皆さんが大好きです。また会える日が待ちきれません。

主藤ファミリー (染谷)



自分の名前を日本語で書いたり、ホストのソウタの友達2人が小さなパーティーを開いてくれたのがうれしかったです。日本の文化と家族の絆を深める素晴らしい機会だったと思います。



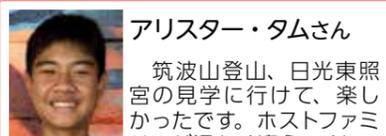
レミ・ドゥケットさん

ホストファミリーとの最高の思い出は、一緒にビデオゲームを楽しんだことです。マリオカートやマリオパーティーと一緒にプレイし、大いに楽しみ、たくさん笑いました!

関ファミリー (井草)



富士山周辺観光に行きました。ロープウェイ、絶景プランコ、神社でおみくじ、世界遺産の忍野八海、そして日本のパンケーキを楽しみました。ファミリーデーの前日、茶道体験もしました。自分で選んだ着物で、ミニお茶会に参加しました。お抹茶を立てる体験もできました。



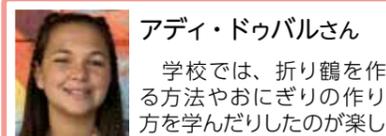
アリスター・タムさん

筑波山登山、日光東照宮の見学に行けて、楽しかったです。ホストファミリーが温かく迎えてくれて嬉しかったです。日本での時間、ホストファミリーと過ごした時間は、とても楽しかったです。

倉持ファミリー (若林本田)



筑波山登山、日光東照宮見学に行きました。日光東照宮では、世界文化遺産である日本の伝統的な建築物に興味深かったようで、日本文化を理解しようと真剣に見て回っていました。



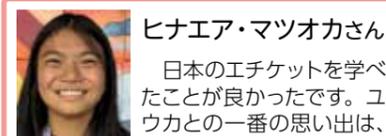
アディ・ドゥバルさん

学校では、折り鶴を作る方法やおにぎりの作り方を学んだのが楽しかったです。ホストファミリーとの最高の思い出は、横浜に行っ観覧車に乗った時です。

後藤ファミリー (旭町)



横浜みなとみらいへ行きました。アディは初めての観覧車にワクワクしていました。家族みんなで楽しむことができました。



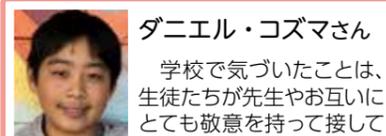
ヒナエア・マツオカさん

日本のエチケットを学べたことが良かったです。ユウカとの一番の思い出は、休日にアイドルグループを見かけた時でした。ユウカがとても喜んでくれたのが印象的でした。

馬場ファミリー (住吉町)



鎌倉に行きました。ヒナエアちゃんは熱心に写真を撮り、人力車も食べ歩きも楽しんでいました。



ダニエル・コズマさん

学校で気づいたことは、生徒たちが先生やお互いにとて敬意を持って接していることでした。校舎もとてもきれいで、全ての生徒が放課後の活動に参加しています。それに、学校給食が最高でした!

山川ファミリー (長井戸)



東京ディズニーシーでアトラクションに乗りました。お土産を買いました。ジェットコースターが一番楽しかったと言ってました。

第27回 境町生涯学習フェスティバル



フィナーレで行われた参加者全員での「上を向いて歩こう」の大合唱



境一中吹奏楽部による演奏



境二中吹奏楽部による演奏



会場の皆さんも参加したダンス



中央公民館カラオケ教室によるカラオケ



境高校吹奏楽部による演奏



スタッフとして会場を盛り上げてくれた高校生会クローバー



フィナーレのダンス「東京ブギウギ」



和太鼓部境寿太鼓による演奏



コールいずみによるコーラス



アクロバティックな動きを披露する Y'pep

4年ぶりに開催！

第27回 境町生涯学習フェスティバル



音楽研究部 BGMによる演奏



放課後等デイサービスプーさんの家による歌とダンス



中央公民館フラダンス教室によるフラダンス

境町生涯学習フェスティバル

2月17日(土)、18日(日)令和元年度以来4年ぶりに「第27回生涯学習フェスティバル」が開催されました。

文化協会加入団体、境高校・境一中・境二中の吹奏楽部、境高校の応援団部や演劇部、町内で活動している団体等の発表も行われ、2日間で全31団体が参加し、800名以上の方々が登場しました。それぞれ歌やダンス、楽器演奏、劇などを披露しました。発表のほか、茶道教室によるお茶会も行われました。

2日目のフィナーレでは、参加者全員で東京ブギウギのダンスや上を向いて歩こうを合唱し、会場一体となって幕を閉じました。来場者からは「司会や高校生ボランティアや境高校の応援団に元気をもらいました」「生の舞踊や弾き語りを見ることができ、良い体験ができました」などの声が多く聞かれ、会場も大いに盛り上がりました。また、3月1日(金)～7日(木)には、ふれあいの里において作品展も行われ、多くの来場者が様々な作品を観賞しました。



作品観賞を楽しむ皆さん



いろいろな作品を観賞する皆さん



作品展にも多くの方が来場しました

安全な道路で快適な暮らし



道路は、私たちの暮らしや地域社会のために欠かせないものです。町では、各行政区の区長さんを通して受け取った町民の皆さんの声に応え、通行に危険な道路の整備や経年劣化した道路の補修、国道や県道の整備については、国や県への要望を行い、道路改修を実現しています。



宮本町
国道
354

町が県へ要望し、道路改修を実現！

県が施工した道路工事で旧町内の道路を整備しています



古河方面から利根川の土手沿いを走り、宮本町の交差点から町中へと続く国道354号について、傷んでいた路面を舗装しなおし、消えていた停止線などの白線を新しく引きました。

この国道354号は、工事終了後は町に管理が移管されることから、今後、町では歩道の整備を行っていく予定で、現在、地元説明会等の準備を進めているところです。迅速な対応を目指し取り組んで参りますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



山神町
県道結城野田線
交差点

ウォークアブル推進事業

町が施工した道路工事で旭町から山神町に向かって歩道を作っています



県道結城野田線との交差点の東側の町道1-10号線について、道路の拡幅を行い歩道を整備しました。

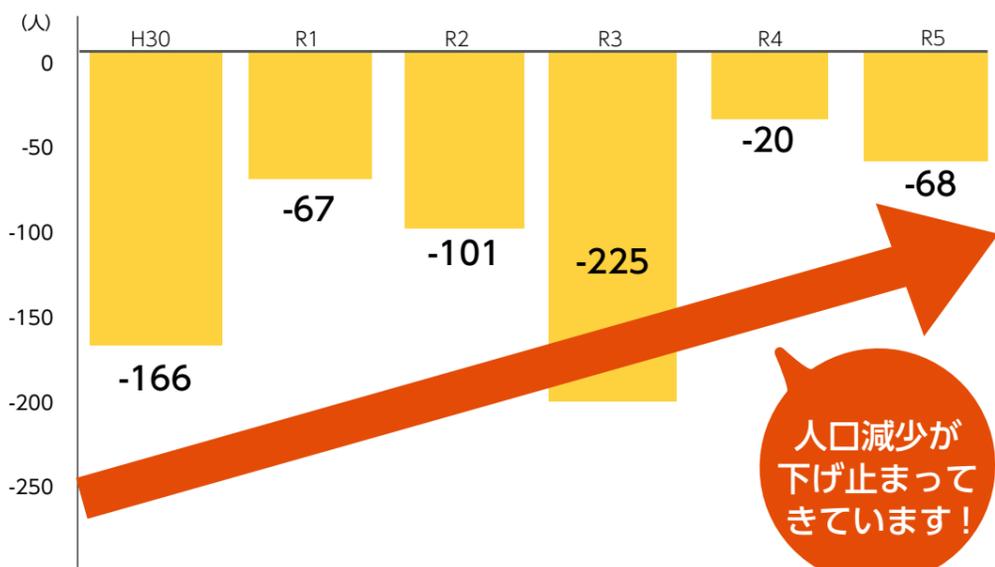
この道路は交通量の多い主要道路であるため、歩行者や自転車の通行が危険なケースも見受けられていましたが、歩道ができる事により安心して通行できるようになりました。今回整備した道路の、さらに東側についても道路整備を行う予定です。工事期間中はご不便をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。



町民の皆さんが、安全な道路環境でより快適に暮らせるように、少しずつでも確実に要望を実現し、皆さんの暮らしの中の「不便」を改善しています。「不便な場所」や「危険な場所」がありましたら、**行政区長さんを通して町に相談してください。**町民の皆さんの要望に対し、実現出来るかどうか、また、実現出来ない場合は、その理由も含めて説明を行いますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

境町の人口推移

定住促進住宅の整備や移住定住奨励金などの整備の効果で、**移住者が増え、境町の人口減少に歯止めがかかりつつあります**



境町の移住定住

昨年末に境町がテレビの移住ランキングで全国トップ10に選ばれたこと、今、「住みたいまち」「暮らしたいまち」として境町が全国から注目され、境町に引っ越ししてくる人が増えています！

境町の社会人口(年度)

※社会人口とは、転入人数と転出人数の差



移住者の声

令和5年9月実施
アイレットハウス入居者へのアンケートより

子育て支援がたくさんあり、移住に関する手当もあるのが魅力的です。

ご近所の子もたちと兄弟のように毎日遊んでもらえたりと地域の方々が優しく、とても良かったです。

金銭面や学習面での支援があるため、子育てに希望が持っています。

他県へのマイカーアクセスが良く、東京までも近いです。

町では移住定住政策として、以前よりPFIを活用した定住促進住宅の整備を行っており、これまで建設したマンションタイプのアイレットハウス、モクセイ館、カンナ館、さくら館、ひまわり館は全108戸満室、また、初の戸建住宅となるアイレットハウスオハナタウンも全17棟満室で、当町の定住人口の増加や地域の活性化に寄与しています。

令和6年3月15日(金)、新たに、第6期定住促進住宅「アイレットハウスマハロタウン」の戸建住宅27棟が完成しました。

入居募集において、全国各地より230件もの入居申込をいただき、境町が移住先として全国的に注目を集めています。

マハロタウンの完成により、100名を超える子育て世帯が境町へ転入したところ、令和5年度の転入・転出の合計が+158人となり、定住促進住宅の効果が見れています。

令和5年度の社会人口は
+158人の増!

境町に引っ越ししてくる人が増えています！

3/18

境町と郵便局との包括連携協定を締結

3月18日(月)に役場で、境町と郵便局が両者の発展と町民サービスの向上を推進するため、包括連携協定を締結しました。町内の郵便局のネットワークを生かした地域見守り活動や道路情報の提供に加え、町の魅力発信などで協力を強化します。

協定締結式には、茨城境郵便局の飯田剛局長をはじめとする町内郵便局長、並びに古河市の三和郵便局の茂木克己局長等が出席しました。災害発生時の協力に関する事、地域見守り活動に関する事、道路損傷に関する事、廃棄物等の不法投棄に関する事、広報・宣伝に関する事、その他町民サービスの向上及び地域社会の活性化に関する事の協定書に調印し、連携して取り組みます。



締結式の様子

3/19

民間運営のグランピング施設が誕生！

3月19日(火)、姉妹都市・ホノルル市があるハワイをイメージして整備したグランピング施設「アロハ グランピング リゾート サカイ」の落成式が行われました。

この施設は町の交流人口を増やすための施策の一つとして、西泉田の約1ヘクタールの森林の中にハワイのリゾート地をイメージした、2~6人で泊まれる2階建てコテージ4棟、通常のキャンプ用テントサイト12区画と屋外サウナなどが整備され、手ぶらで気軽にキャンプが楽しめます。

施設は、4月1日(月)にグランドオープンし、全国から宿泊客が訪れています。

施設運営は新たに設立された民間会社(Summy 株式会社)が指定管理者として運営し、町に賃料を支払う仕組みです。



落成式の様子



グランピング施設が完成しました

3/15

アイレットハウス マハロタウン(戸建住宅)が完成！ 22件が移住

3月15日(金)、子育て・新婚世帯を対象とした定住促進住宅「アイレットハウス マハロタウン」が完成し、落成式が行われました。

PFIを活用した戸建タイプの賃貸住宅は、昨年度の「オハナタウン」に続く第2弾で、3LDK・延床面積30坪の住宅を全27棟(住吉町22棟・上町5棟)整備しました。25年間住み続けると土地・建物が無償でもらえる住宅となっており、北は秋田県から南は沖縄県、さらに海外はカナダやベトナムから、併せて約230件もの申し込みがありました。本住宅への入居により、100名を超える子育て・新婚世帯が転入することから、更なる定住人口の増加や地域の活性化が見込まれます。



落成式での様子

3/18

ハワイ州ホノルル市アリアマヌ中学校の生徒が町長を表敬訪問

3月17日(日)、境町の中学校2校と(2019年12月に)姉妹校協定を締結しているホノルル市の州立アリアマヌ中学校の生徒15人と教職員が来日しました。

翌18日(月)には、アリアマヌ中学校一行が橋本町長を表敬訪問し、フラダンスの披露と記念品の手作りボードが贈呈され、町と町立中学校からは、オリジナルTシャツとメッセージボードを贈呈しました。21日(木)までの滞在期間中、アリアマヌ中の生徒たちは、境町の児童生徒の家にホームステイしながら、境一中の11人と境二中の4人に分かれ、それぞれの学校に登校しました。各中学校では、書道体験や剣道体験など日本の文化に触れながら生徒たちが交流を深めました。また、アリアマヌ中教諭による特別授業として、ハワイ語の授業やレイ作り、ハワイアンカヌーの授業が行われました。



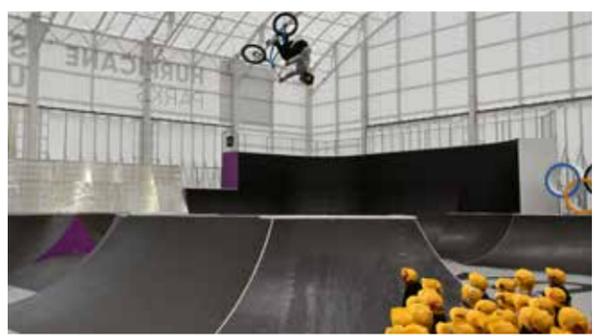
表敬訪問では、アリアマヌ中学校の生徒によるフラダンスが披露されました

2/21

東京五輪で使用されたBMXパークを境町に移設！屋根付きの施設が完成！

2月21日(水)、BMXやインラインスケートなどが楽しめる、世界最高レベルの屋内型競技場「境町アーバンスポーツパーク 2nd (セカンド)」の完成式典が開催されました。

本施設は、東京五輪で使用したBMXの競技施設を移設しレガシー(遺産)を引き継いだもので、五輪のオブジェや「TOKYO2020」のロゴマークを残しつつ、雨の日でも使用できるよう施設全体に屋根と照明を整備しました。式典には、東京五輪男子BMXフリースタイル・パーク金メダリストのローガン・マーティン選手(豪州)ら約260人が出席し完成を祝ったほか、ローガン選手らがデモンストレーションを行い、来場した子ども達らを楽しませてくれました。今後、世界最高峰のアーバンスポーツの総合国際大会である「FISEワールドシリーズ」など、本施設で主要な国際大会等を開催していく予定です。



デモンストレーションの様子

3/3

第1回さかいまち国際児童画展を開催

令和6年2月1日(木)~3月24日(日)、S-Gallery 齋竊美術館において、町と親交のある海外の子どもたちが描いた絵画作品を展示する「第1回 さかいまち国際児童画展」が開催され、3月3日(日)、境町中央公民館にて授賞式が開かれました。同展は、姉妹都市のホノルル市とフィリピンマリキナ市、長年親交のあるアルゼンチンの子どもたちなど4歳から15歳を対象に実施。海外からの64点を含め計1457点の応募があり、米国ハワイ州ホノルル市の小学1年生のケンジー・ヤマダさん(6)と、長田小学校4年生の飯田紬希さん(10)が大賞に輝きました。

大賞の飯田さんは、忍田暢男教育長から表彰され、笑顔で賞状を受け取りました。もう一人、大賞に輝いたケンジー・ヤマダさん(6)は3月22日(金)、境町を訪れ、橋本正裕町長から賞状が贈られました。



大賞を受賞した飯田紬希さん(前列中央)



大賞を受賞したケンジー・ヤマダさん(前列左)とご家族

1/30

うなぎの加工工場がOPEN！

1月30日(火)、上小橋にて、ふるさと納税の返礼品等にも活用できる新たな特産品の研究開発・加工等を行う施設が完成しました。

ウナギの研究開発・加工施設は、町などが主導する「利根川鰻(うなぎ)復活プロジェクト」に賛同した建築家・隈研吾氏の設計で、建物の外装は、杉板を曲線的に配してウナギの姿を表現しています。宮崎県の(株)大森淡水が提供する良質なウナギを加工し、1日最大5千匹を取り扱います。サツマイモの研究開発・加工施設は、返礼品の干し芋が好評のため増設されたもので、保管庫は100~200トンが収納可能で、室温13度で熟成させることができる設備になっています。

両施設とも、さかいまちづくり公社が指定管理者として運営し、町に賃料を支払う仕組みになっています。



落成式での様子

2/9

トレーラーハウスを石川県能登町に貸与

町は、能登町長からの依頼を受けて、能登半島地震で復旧活動に従事する人の宿泊施設として、町が所有するトレーラーハウス2台を石川県能登町へ送ることを決め、2月9日(金)に出発式を行い、13日(火)に現地で引き渡しを行いました。

能登町では、およそ5,000戸の住宅が全壊や半壊などの被害が発生し、道路などの復旧活動が進められています。これら復旧活動にあたる人々の中には、町内に宿泊できず県外から毎日通う人もいることから、こうした人々たちのために復旧・復興拠点の宿泊施設として設置されたものです。トレーラーハウスは、企業版ふるさと納税で境町に寄贈されたもので、宿泊タイプとして浴室やトイレのほか、キッチンやエアコンも備え付けられています。なお、能登町へは2年間、無償で貸与されます。



石川県能登町に送ったトレーラーハウス

R5年12/7

絆会が町に寄付

絆会（篠原勉会長）が子どもの教育に役立ててほしいと、30万円を寄付されました。



R5年12/20

田中重男さんが町に寄付

境町上小橋の田中重男さんがアルゼンチン共和国と長田小学校の友好90周年を記念して建立した記念碑の設置工事の一部として、6万円を寄付されました。

R6年1/19

NON 歌謡会が町に寄付

令和5年11月26日（日）、中央公民館にて開催された「荻野憲子と門下生によるチャリティー歌謡ショー（荻野憲子会長）」の収益金4万3,086円を福祉のために役立てていただきたいと寄付されました。



寄付に訪れたNON歌謡会の皆さん

R6年1/19

民踊線歌部が町に寄付

令和5年12月17日（日）、中央公民館にて開催された「境町文化協会民踊線歌部第18回チャリティー発表会（小島茂代表）」の収益金6万8,130円を教育振興に役立てていただきたいと寄付されました。



寄付に訪れた民踊線歌部の皆さん

R6年3/8

石井二三男さんが町に寄付

古河市在住の石井二三男さんが、境町山崎の館野善助さん・館野ミツエさんの遺志を引き継ぎ、子育て世帯の支援に役立てていただきたいと、200万円を寄付されました。



寄付に訪れた石井二三男さん（写真左）

R5年10/10

(有)丸亀運送が町に寄付

(有)丸亀運送（小林隆之代表取締役）が福祉に役立てていただきたいと、10万円を寄付されました。

R5年10/10

境町生産組合組織運営協議会、茨城県農業機械士協議会境支部がお米を寄贈

境町生産組合組織運営協議会（高島信夫会長）、茨城県農業機械士協議会境支部（倉持清一郎支部長）がお米の消費拡大及び地産地消の推進のため、学校給食用として、令和5年度産コシヒカリ（精米）30kg袋×13袋を寄贈されました。

R5年11/28

新菱農機(株)が玄米を寄贈

新菱農機(株)（長澤一夫代表取締役）が子育て世帯の支援に役立てていただきたいと、令和5年度産お米3トン（玄米）を寄贈されました。



寄贈に訪れた長澤聡専務（写真左）

R5年12/7

エスジェー工業(株)が町に寄付

エスジェー工業(株)（佐藤勝一代表取締役）が町のために役立てていただきたいと、100万円を寄付されました。



寄付に訪れた佐藤勝一代表取締役（写真中央）

R5年12/7

境スタンプ会が町に寄付

境スタンプ会（関朗彦会長）が子どもの教育に役立てていただきたいと、14万4,710円を寄付されました。



寄付に訪れた関朗彦会長（写真中央）

R5年8/17

さかいふるさと祭り協力が町に寄付

さかいふるさと祭り協力会（新井孝会長）が利根川大花火大会に役立てていただきたいと、306万円を寄付されました。



ふるさと祭り協力会の皆さんと橋本町長（写真中央左）

R5年8/17

中和建設(株)が町に寄付

中和建設(株)（中村和夫代表取締役）が利根川大花火大会に役立てていただきたいと、100万円を寄付されました。



寄付に訪れた中和建設(株)中村亮太さん（写真左）

R5年8/17

(株)新井建設工業が町に寄付

(株)新井建設工業（新井孝代表取締役）が利根川大花火大会に役立てていただきたいと、100万円を寄付されました。



寄付に訪れた新井代表取締役（写真左）

R5年10/3

茨城県理容生活衛生同業組合古河支部が町に寄贈

茨城県理容生活衛生同業組合古河支部（安藤昌典境地区長）が町民の方に役立ててほしいと、マスク100枚を寄贈されました。

R5年10/3

ワーグナー・コンサルタンツ(株)が町に寄付

ワーグナー・コンサルタンツ(株)（伊佐山英己代表取締役）が利根川大花火大会に役立てていただきたいと、30万円を寄付されました。

表彰

令和5年度 危険物に関する標語

坂東地区危険物安全協会において、境町・坂東市の小学4年生を対象とした「危険物に関する標語」を募集しました。審査の結果、入賞した町内小学生の作品です。

最優秀賞

危険物 指さし確認 事故防ぐ
長田小学校 石塚 唯菜

優秀賞

危険予知 きびしい目には 事故はなし
境小学校 飯塚 彩夏

その一秒 命を守る 行動を
静小学校 篠塚 結梨

入賞

危険物 事故なしけがなし 安全に
境小学校 本谷 すみれ

出かける前 何度も確認 火の用心
長田小学校 高崎 翔真

まあいいか その気のゆるみが 命取り
猿島小学校 森下 なな実

危険物 未然に防ぐ 再確認
森戸小学校 佐怒賀 斗吾

寄付

R5年7/27・8/30・9/26・11/2・11/28・R6年1/10

読売センター境古紙提供読者一同が町に寄付

読売センター境古紙提供読者一同がコロナ対策に役立ててほしいと、古紙回収で得た計17万7,720円（6回分）を寄付されました。

R5年8/4

(株)坂東太郎が町に寄付

(株)坂東太郎（青谷英将代表取締役）が中学生リーダー育成研修事業の費用助成のため、20万円を寄付されました。

R5年8/17

(株)篠原工務店が町に寄付

(株)篠原工務店（篠原純一代表取締役）が利根川大花火大会に役立てていただきたいと、100万円を寄付されました。



寄付に訪れた篠原代表取締役（写真左）

1回目のさかいまち国際児童画展

藤原敏雄 (境町地域おこし協力隊 アートディレクター)

今から遡る一年前、2023年の1月から2月にかけて開催した「世界のこどもたちの絵画展」(S-Gallery 肅祭寶美術館)は、「さかいまち国際児童画展」に向けての雰囲気づくりと国際児童画展を理解してもらうために、筆者の古巣である「カナガワビエンナーレ国際児童画展」(主催：神奈川県)から絵を借りての展覧会でした。

そして今年2月に「第1回さかいまち国際児童画展」を開催することができました。作品募集の期間は2023年の7月から9月まで、作品審査は同年10月に行いました。そして今年2024年3月3日に表彰式、境町のこどもたちの笑顔が式場に溢れていました。

明治から大正にかけて、日本における図画の学習方法は、お手本の絵を忠実に模写する臨画から始まりました。しかし、版画家で洋画家の山本鼎(1882-1946年)は、大正デモクラシーの自由主義を背景にして、教育への権力統制を排除しようと自由画教育を提唱しました。それは、児童には児童の感性、理性があり、印象、感覚、認識において本来児童にはその実相が備わっているという、児童の創造性を重視した図画教育でした。自由に描かせることから、風景の写生画が盛んになります。写生画の隆盛で画材のクレヨンが普及したそうです。

「さかいまち国際児童画展」の募集対象年齢は、4歳から15歳までです。未就学児は、絵を描くというよりは、絵具や筆に触ってみたい好奇心と、絵具の鮮やかな色に惹かれたりします。絵を描かせようとするとおとなの思考と違って、触覚(筆に触れる)、視覚(絵具の色)、あるいは絵具の匂い(嗅覚)などの身体感覚が未就学児にとっては関心の点ではないでしょうか。小学生になると、目の前にある絵具の色の持

つ意味や感情を理解しようとし始めます。「色彩の学習」と言われています。低学年が描く絵に、テーブルを囲んだ家族や友だち全員がのけぞっている姿がよくあります。これは構図に問題があるのではなく、「折り返し」という、低学年によく見かける表現法で、画面空間の原始的な認識にまだ限定されていることを意味しています。こどもたちに共通したモチーフの繰り返しもあります。それらのモチーフに向けたこどもの関心を大切にしたいと思います。

年齢が上がるにつれ、描画法を習得しながら、社会や自分の内面にテーマを見いだしていきます。今展に内面を表現している絵がありました。また、境町在住の外国籍のこどもたちからも参加があったことは筆者にとって嬉しく思います。境町の友好国と姉妹都市からの参加は、絵を通じた国際交流、異文化理解につながるものと信じています。

筆者の古巣のカナガワビエンナーレ国際児童画展では、いくつものワークショップや関連企画を実行してきました。例えば、会場前のスペースで、あらかじめ用意した型紙(ステンシル)を使って、はがき大の用紙に、何色かのスタンプ台で色づけしたスポンジを押しつけていくワークショップ。これは短時間で楽しめ、完成した作品を壁面に展示するか、持ち帰りたいこどもには作品を持ち帰ってもらいました。○□△、直線などをプリントしたはがき用紙を自宅に持ち帰って絵をつくり、それを事務局に郵送してもらう(あるいは持参)というアート遊びです。無地の紙から絵をつくるのではなく、ヒントになる図形や線があると描きやすくなるという考えからこのアート遊びを行いました。

そのほかにも日本画家のワークショップ、美術家とこどもたちによる壁画制作、美術家の講演会などがありました。こどももおとなも楽しめる美術に関連した映画上映会も開きました。展覧会をいろんな角度から楽しんでもらいたいという気持ちからでした。さかいまち画

際児童画展も今後このような関連企画で楽しめることができるように望んでいます。



俳句

令和六年一月 境町文化協会俳句部

兼題 「雑煮餅・初句会」 他当季雑詠

雑煮喰む 金色の朝の 日射しかな

香 こ

※元朝の日射しの何と美しく荘厳なことよ。平素は考えもしない、大自然への畏敬と感謝の念を改めて深くする。家族揃って、無事、新年を迎える事の出来る幸運をしみじみと噛み締める。

椀二つ ふえてめでたき 雑煮かな

芙蓉

※元日の朝、家族揃って食卓に付く。だが、今年は昨年と違ってお椀の数が一気に二膳も増えたではないか。可愛い孫が、可愛い嫁を娶り、更に立派になって新年を迎えたのである。

和みつつ 緊張走る 初句会

慶 子

あな嬉し 待ちに待ちたる 初句会

き 代

それぞれに 年輪重ね 初句会

信 子

具沢山 夫の作りし 雑煮餅

幸 子

緊張で 一句も読めず 初句会

正 子

丸き背を ピンと伸ばして 初句会

仁

小さめの 雑煮の餅は 爺と婆

妙 子

餅ひとつ 年相応の 雑煮餅

ひろ 子

雑煮餅 孫に越されし 餅の数

きよ乃

子や孫と 食べる 幸せ 雑煮餅

光 夫

永久に 家内安全 雑煮餅

春 世

家族無事 願う 一杯 雑煮餅

喜 一

俳友が 手強く 見える 初句会

す 子

コロナ禍や 夢にまで 見し 初句会

久 子

いそいそと 粧ひ凝らし 初句会

美 彩

令和六年初句会成績(一月二十日・席題 初日の出)

- 一席 九点 三世代揃ふ 幸せ 初日の出 久 子
二席 七点 利根の橋 明け行く 景色 初日の出 美 彩
三席 七点 初日の出 家族の健康 念じ合ふ ひろ 子

短歌

境短歌会 山鳩

雪降りては しゃぐ子どもの 足元に 小ききダルマ 共にほほえむ

川 上 京 子

水仙の 蕾も今は 膨らんで 明日にも 咲くか 楽しみに 待つ

川 村 米 子

幼き日 一家で 住みし 町の名を ふと 耳にして 郷愁 募る

古 谷 野 信 子

春一番 風に 誘われ 白梅の 香りも やさし 夕暮れの 時

桜 井 レ イ

春来たし 花の 蕾が 顔を出す もう じき 華やく 庭の 片隅

五 月 女 三 枝 子

楨の木の 葉影に 二羽の 山鳩が つがい なるかな 仲良く 並ぶ

鈴 木 喜 與 子

早春の 狭庭に 咲きし 水仙に 夢と 希望が 少しだけ 見え

松 岡 美 智 子

主なき 大樹の中の 梢高き 白木蓮は 吾を迎える

本 島 イ ト 子

月日の経つのは早いものでもうすぐ三月になります。早いところでは桜の便りも聞かれるようになりまし。

能登地方の方々のご苦労は寒さの中依然として続いています。少しでも早く生活が楽になることをお祈りしています。

本格的な春に向かい少しでも明るい気持ちで過ごしていきたいと思っています。



宝くじ助成事業を活用して 坂花町の神輿を修復



今までの神輿は、昭和元年に造られ90年以上が経っていることから、老朽化が著しく、今回宝くじの助成金と地区負担金を併せて修復しました。修繕された神輿は、老人会や子ども会、夏祭りなどに活用され、地域交流の推進を地域の連携・協調の促進が期待されています。

※宝くじ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されている事業です。

S-Gallery 肅祭寶美術館 information 茨城県猿島郡境町 1455-1 TEL:0280-23-4148



令和6 (2024) 年度企画展

- 卯野和宏×久野和洋展「水脈の声」(4/3~5/6) ●肅祭寶展
●隈研吾展●たつみなつこ展●中嶋明展●光山明展
●第2回さかいまち国際児童画展(予定)



茨城県
境町

令和7年4月採用

新卒採用

WELCOME TO TOWN OF SAKAI

公務員募集

Iターン・Uターン歓迎！

境町 採用

検索



申込締切

令和6年

7月1日 月

※申込書類は7月1日17時までに必着または境町役場3階総務課まで直接提出

1次試験

令和6年7月28日(日)
【試験内容：書類審査、論文、適性検査】

2次試験

令和6年8月下旬
【試験内容：面接】

募集要項

職種

一般事務(新卒)

受験資格

27歳まで

※高等学校卒業以上で
平成9年4月2日以降
生まれの方に限ります。

募集人数 若干名

本気の挑戦者
求む！



問合せ先 茨城県境町役場 総務課 職員係 ☎ 0280-81-1300

町の人口と世帯数 ※令和6年4月1日現在の常住人口(前月比)

■総人口 23,832人(+53) ■男性 12,086人(+32) ■女性 11,746人(+21) ■世帯数 9,254世帯(+63)

■発行所/境町役場 〒306-0495 茨城県猿島郡境町391-1 Tel.0280-81-1329 ■編集/秘書広聴課 ■発行日/令和6年4月1日

■境町ホームページ <https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/>